



人魚の肉、食べようか....

葉月 螢 豊田奈千甫

星野建一郎 渡辺智江 キタモトマサヤ 芥 正彦

プロデューサー／鴨田好史・松井良彦
監督・脚本／佐藤訪米 脚本／野口博司
撮影／清水洋策 照明／北井哲男
録音／木村益夫・松陰信彦・西田正広
美術／牧田美智子 編集／藤原公司
整音／浜口十四郎 制作担当／山本希平
音楽／不破大輔

京極真珠

KYOGOKU-XINJU

佐藤訪米監督作品

製作・配給／銀幕工場+team D.P. ©佐藤訪米計画 1997

京極真珠

KYOGOKU-XINJU

97年/60分/16ミリ/カラー/スタンダード

道ばたに咲く花が、その蜜を吸う蜂に恋をした。花は狂おしく恋し、その蜂を食べてしまった。そんな夢のような珠子と鏡子の恋物語。珠子の純愛。その心の鏡としての鏡子。やがて二人は、千年の狂都(=京都)のはらむ、終末観の滲てに蘇る伝説の詩を産みおとす。

珠子役には、映画初出演の豊田奈千甫。鏡子役には、2年連続ピンク大賞女優賞の葉月螢。共演に大駱駝艦の星野建一郎。「コケッシーズ」の渡辺智江。そして、伝説の芥正彦。

監督は、京都アンダーグラウンド・シーンを暗躍してきた佐藤訪米。「錆色の河に沈む太陽の詩人に口無し」等の問題作を発表、眠れる都の夢を撃ちつづけてきた。プロデューサーには、「追悼のざわめき」でカルト・ムービーを日本に確立させた松井良彦に、「路上」の鴨田好史。音楽は、「淡さ知らズ」の不破大輔。

現代京都を生々しく写し撮った「京極真珠」は、ここにスーパー・スタイリッシュな伝説となった。

STORY

祇園。廃ビルの一室。鍋の中でぐつぐつと鳥ガラが煮立つ。言葉を交わすこともない珠子と鏡子、ただ唇を重ね合うだけ。

四条大橋が鴨川にかかる。坊主が経を唱えている。街へと向かう珠子。その首にかかる丸鏡が光って坊主を射した。その瞬間、「千年の間」の封印が解き放たれる。

珠子が部屋に戻ると鏡子の姿はなかった。彼女を探して彷徨う珠子は、街中に現れた迷宮に舞い込んでしまう。そして甘美な陶酔が...

夜明けの公園では鳥が餌を漁り、虫々が蠢きはじめていた。



根本 敬 [特殊漫画家大統領]

おっかない映画だ。が、甘美なあと味が残るのは、京都という土地の持つ磁力にもよるのだろう。それにしても、目に効く映像だ。

ミルクマン 齊藤 [groovisions]

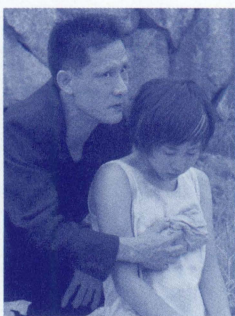
現実を侵食する古都の蠱惑であるとか、現代に甦らされた60年代アンダーグラウンド・シーンの亡霊だとか……それって「伝統的芸術」じゃないの？

中原昌也 [暴力温泉芸者]

単調な毎日。粗末な食事。暗い部屋。こんな地獄のような生活を、60分でいいから体験して欲しい。誰もがラストのヒロインたちの行動に共感するだろう。そしてエンドクレジットの解放感に、誰もが心動かされるに違いない。

大木温之 [The ビース]

なつかしーばかりでやりきれないす。息つまるわ、逃げたくなるわ、旅にでも出ますか。(抜粋)



5.2 [SAT.]より 5.22 [FRI.] Late & Nite Roadshow

連日 pm 9:00 | 10:10 (終映11:10)

※5/2の10:10の回は休映。毎週月曜は、「月曜日のユカ」上映のため休映。

★初日(5.2)pm9:00より監督・豊田奈千甫による舞台挨拶があります。

5.2 <京極真珠 オールナイト SPECIAL>
pm10:30start (終了am5:00)

「路上」「錆びた缶空」「京極真珠」

鴨田好史監督 松井良彦監督 佐藤訪米監督

「錆色の河に沈む太陽の詩人に口無し」

他、佐藤訪米作品集一挙公開!

☆その他、ゲストと監督による真夜中トークや、渡辺智江の歌など盛りだくさん!

前売/当日 ¥2,400均一 (劇場窓口のみ扱い、限定80席)

募集!

"京極真珠"

宣伝隊

team D.P.
075-531-9474

→ <http://web.kyoto-inet.or.jp/people/takuzou/XINJU.html>

特別鑑賞券¥1,200好評発売中!!

(当日、一般¥1,500、学生¥1,300の処)

お買い求めは、チケットぴあ、セゾン、劇場窓口、プレイガイド他にて。



ホワイトティーム・泉の広場6番出口北へすぐ

シネ・ヌーヴォー梅田

TEL.06(365)0094